

銅・アルミ

市況見通し

2月

銅

20年12月の伸銅品生産は、前年同月比で2

・3%減の5万8423700トで、うち国内となり25カ月連続で前年同月に比べて減少した。銅輸出は、電気銅が

114ト、銅スクラップが同47・3%増の4万9672ト。銅輸出は米中における景気の回復期待(需要増)から、ともに増加した。

LME銅・為替予想
今月は引き続き、コロナワクチン問題、中国景気は感染拡大懸念や製造業関連

12月のアルミニウム2次合金・同合金地金1万7727ト、アルミ缶が同0・5%減の9647ト。輸入はアルミ新地金の9万5317ト、アルミスクラップが同5・7%減の428ト、アルミ合金スクラップが同105・2%増の6789トだった。

銅輸入は、電気銅が同13・3%増の1473ト、銅スクラップが同21・3%増9444トだった。銅輸入は想定よりも国内生産が落ちてないことから、共に増加した。

銅スクラップ景況予想
1月の電気銅建値は84万円から87万円まで上昇した。このため前月につづき、流通在庫の玉は潤沢。

アルミ
12月のアルミ圧延品生産量(板類・押出類合計)は同4・2%減の14万4404トとなり2カ月連続で前年同月を下回った。生産量は板類が同5・3%減の8万4840ト(2カ月連続の減)、押出類が同2・5%減の5万9564ト(15カ月連続の減)だった。

橋本アルミ取締役

橋本 健一郎氏レポート



12月の銅電線出荷量は同5・3%減の5万

2月銅市況予想レンジ

LME銅セツルメント	7000~8000ドル	横ばい
電気銅建値	76~88万円	弱い
為替(1ドル)	103~105円 (1カ月間TTM)	円高

2月アルミ市況予想レンジ

LMEアルミ現物後場買い	1900~2100ドル (現物後場買い)	横ばい
スクラップ	据え置き~マイナス5円 (前月最終価格より)	強い
為替(1ドル)	103~105円 (1カ月間TTM)	円高

アルミスクラップ景況予想
流通在庫はLME価格が2000ドル近辺で落ち着いていることから比較的潤沢。需要面は中国経済の足踏みからの輸入塊の価格が下落。これにより輸入塊へシフトする動きもある。国内玉の在庫は潤沢なまま推移するだろう。